

# 1. 松本地域健康産業推進協議会の取組方針

---

## 松本ヘルスバレー構想の実現

- (1) 地域のヘルスケアプラットフォーム機能の充実・強化**
- (2) ヘルスケア産業の創出**
- (3) 市民との共創を前提とした官民連携による社会的課題解決**

## 2. 具体的な事業

---

### (1) 健康産業フォーラム

先端的な健康・医療情報の共有化を図るとともに、ビジネス化の可能性を検討

### (2) 実証実験・実用化検証助成事業

会員企業の提案に基づいて製品・サービスの実用化検証を支援・実施  
事業費100万円上限（会員企業負担1 / 4相当額）に助成

### (3) 国、県の補助事業への申請支援、相談業務

経済産業省等国、長野県などへの補助事業申請を支援

### (4) 医療・福祉・健康ICT基盤の検討

### (5) 松本ヘルス・ラボの推進

### (6) 健康経営に関する地元企業への普及・啓発

### (7) 世界健康首都会議

## 2 - (1) 健康産業フォーラム

- ヘルスケア領域の先端的な情報共有・会員同士の交流の場を設けます！

### 第1回健康産業フォーラム

日時：令和元年（2019年）5月13日（月） 16:10～17:00

会場：ホテルモンターニュ松本

講師：株式会社 studio-L 出野 紀子氏、洪 華奈氏

### 東京説明会

日時：令和元年（2019年）11月（予定）

会場：都内



### <参考：平成30年度東京説明会の概要>

- 日時  
平成31年 1月29日（火）
  - ① 10時～12時
  - ② 13時～15時
  - ③ 15時30分～17時30分  
(※3回開催 各回4社限定)
- 会場  
東京八重洲ホール  
(東京都中央区日本橋3-4-13 新第一ビル)
- 内容  
当協議会や松本ヘルス・ラボの取組みに関する説明、  
協議会事務局との個別情報交換

## 2 – (2) 実証実験・実用化検証助成事業

### ● 協議会会員様からのご提案をお待ちしています！

#### ➤ 概要

- ・協議会会員からの提案に基づいて、製品・サービスの実用化検証を実施（委託事業）健康に関するエビデンス構築などを目指します。

#### ➤ 事業費

事業費100万円上限（企業負担1/4相当額）に助成

#### 【対象経費】

原材料費、機械装置・工具器具費、外注費、実証実験補助人件費、再委託費、広告宣伝費、事務経費

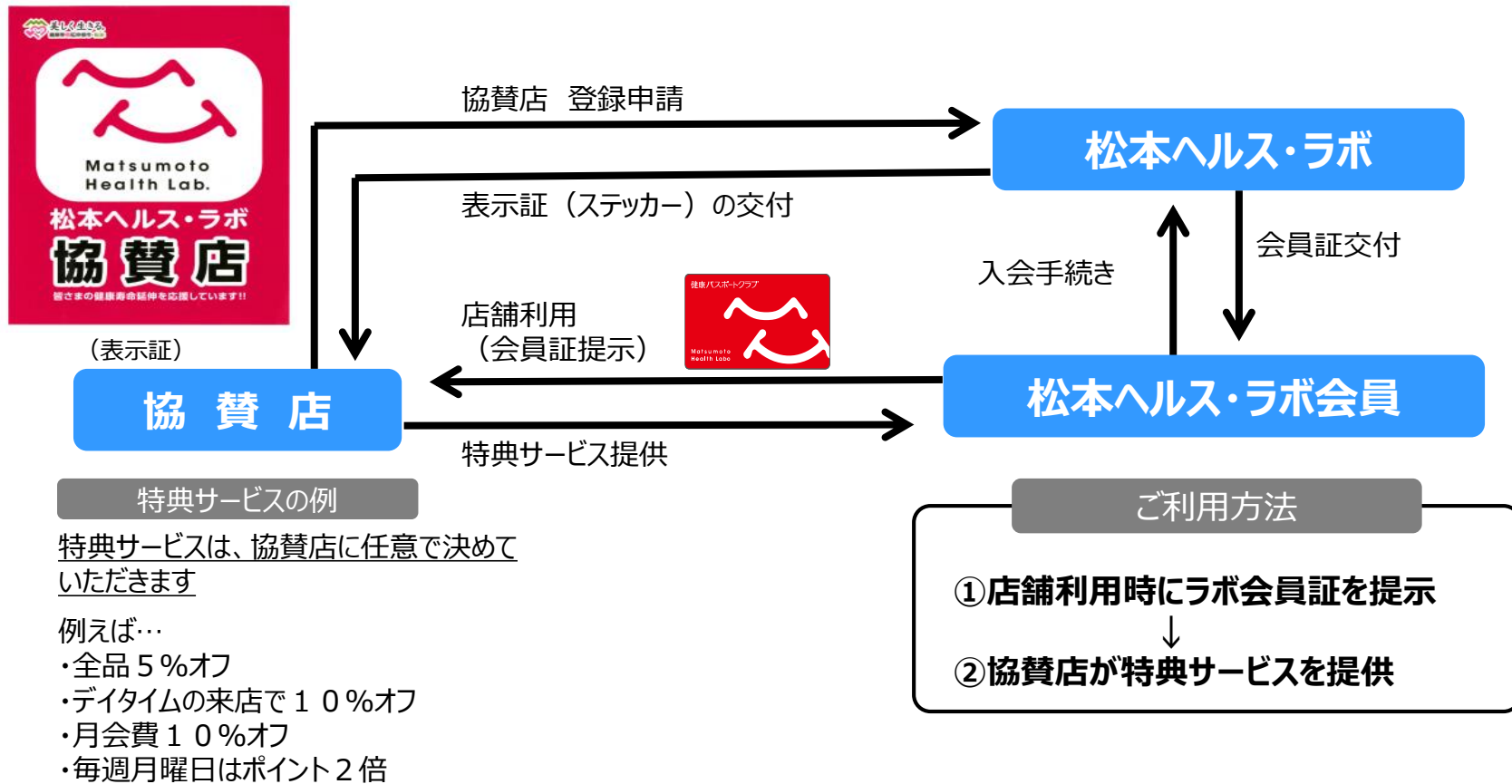
#### 【事業イメージ】

- 例① 大学等の研究機関との連携による製品（サービスも含む、以下同）の機能検証
- 例② 市のイベント等とのタイアップによるPRを兼ねた製品モニタリング
- 例③ 公共施設等での製品モニタリングや機器貸出し

## 2 - (5) 松本ヘルス・ラボの推進

### ● 松本ヘルス・ラボ会員応援事業

- 松本ヘルス・ラボの事業趣旨に賛同する地域の協賛店が、ラボ会員が「出かけたくなる」、「使いたくなる」特典サービスを各店舗で提供
- 特典サービスの享受を通じてはもちろん、店舗利用時のコミュニケーションや会員間の親睦により、会員のさらなる健康寿命延伸を地域全体で応援する事業



## 2 - (5) 松本ヘルス・ラボの推進

大学に在籍する全学生・教職員約550名を会員登録して行う健康プログラム  
→ 法人会員のひとつとして、大学における健康経営として展開



保健師相談



筋トレ

### 内容

#### ◆ 経緯

29年度 松本短期大学看護学科1・2年生約100名を対象に、森永乳業(株)食品モニター調査を実施。  
対象学生を松本ヘルス・ラボ会員登録

30年度 学生会員を対象に、出張健康プログラムを実施

令和元年度 松本短期大学全学生・教職員の健康づくりを支援

#### ◆ 目的

将来松本地域の幼児教育・保育・介護福祉・看護の専門職を担う学生に、健康や栄養に関する正しい知識を身に付けてもらい、若いうちから健康づくりへの意識を育むため、パイロット事業的なアプローチとして、松本短期大学及び森永乳業(株)と連携し、地域の学生の健康づくり支援に取り組む。

#### ◆ 内容

- ・血液検査（1人当たり年1回）
- ・筋トレ・ヨガ・ダンス（1人当たり年各1回）
- ・体組成・骨密度測定、保健師相談（年1回、任意参加）等

## 2 – (7) 世界健康首都会議

### ● 第9回世界健康首都会議の概要

#### ➤ テーマ：「運動」「食」（仮）

コミュニティの中で人とのつながりを維持し、効果的に「運動」や「食事」に心がけることが、個人の健康のみならず、地域社会全体の活性化につながると注目されています。

超少子高齢型人口減少社会が急速に進む中で、ソーシャルキャピタルを強化する必要性や、個人・コミュニティ・行政・産業と「運動」「食」との関わり、「運動」「食」がまちづくり・仲間づくりに果たす役割を考えます。

#### ➤ 期 日 令和元年（2019年）10月16日(水)・17日(木)

#### ➤ 会 場：Mウイング（松本市中央公民館）

#### 【コンテンツ案】

- ◆ 基調講演：カナダ、ロシア、スポーツ庁からの招聘を調整中
- ◆ 取組事例発表
- ◆ パネルディスカッション
- ◆ ブース展示：健康に関する商品・サービス等の紹介、体験、販売
- ◆ 各種健康セミナー、研修会
- ◆ 健康弁当等の販売